

# 平成29年度 学校経営計画

## I 目指す学校像

- 1 生徒が自己肯定感と向上心を持ちたくましく生き抜く「総合生活力」、「人生設計力」を育成する学校
- 2 生徒が人権を尊重し思いやる心や感謝の心を持ち、自分がなすべき事を実践できる学校
- 3 保護者や地域の小中学生にとって、学習・部活動・学校行事等に魅力ある学校
- 4 本校を支援してくれる団体と連携・協力し、伝統を受け継ぎながら進化し続ける学校

## II 取組方針

### 1 学習指導

- (1) わかる授業を心がけるとともに、家庭学習を定着させ学力の向上を図る。
- (2) 互観授業、校内研修、校外研修等によって教員個々の教科指導力の向上を図る。
- (3) 授業がわかる生徒の割合(目標)80%以上、基礎力確認調査の目標値を、数学60%以上、英語60%以上とする。

### 2 生徒指導

- (1) 生活三大目標(「あいさつの山高」「時間厳守」「整容整頓」)を徹底し、統一した指導方針の下基本的な生活習慣の確立を図る。
- (2) 部活動・学校行事・生徒会活動・体験学習等を通じて自主性や社会性、協調性を育成する。
- (3) 運動部・文化部とも県大会での活躍と、東北大会・全国大会進出を目指して指導する。

### 3 進路指導・キャリア教育

- (1) 生徒をよく理解し、全職員による研修と個別指導を中心とした進路指導によって多様な進路希望に対応する。
- (2) 進学指導、就職指導ともに早期から生徒の意識付けと進路学習を行ない、希望者100%の進路決定を実現する。
- (3) インターンシップ、ガイダンス、講演会をとおして自らの可能性を信じ自己理解の深まりと幅広い職業理解を促し、より高い意識の進路選択に向けて指導する。

### 4 心身の健康・安全指導

- (1) あらゆる場面において生徒と教職員のふれあう時間を増やすとともに、個人面談や教育相談を充実させ、生徒一人ひとりに応じた心身の育成を図る。
- (2) 災害に備えるとともに、いじめや暴力のない安全で安心な学校生活を送れるようにする。

### 5 保護者や地域との連携

- (1) 中高連携・各種会合で中学生や保護者のニーズの把握に努めその実現に応えられるよう努力するとともに、サマーチャレンジ等を充実させ小高連携も強化する。
- (2) 学校情報や学校評価をHPや通信等で公開し、開かれた学校を目指す。
- (3) 地域の行事やボランティア活動に積極的に生徒を参加させ、地域貢献を果たす。
- (4) 地域や小中学校との連携を強化し、山田町唯一の高校としての存在感を町民に伝える。

### 6 復興教育

- (1) 県内および他県との生徒間交流によって震災の被害伝承の使命を果たす。
- (2) 東日本大震災への支援に対する感謝の気持ちを持ち続け、今度は必要としているところへ積極的に支援する。

### 7 教職員のスキルアップ

- (1) 各種研修への参加や授業評価によって授業改善及び授業力の向上を目指す。
- (2) 勤務状況確認シートや面談を通じて支援・助言を行いスキルアップを図るとともに、メンタルヘルスに配慮する。
- (3) 高い倫理意識と法令遵守の徹底を図ることにより、信頼される社会の一員として職務に精励する。